

東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2021年7月15日発行

第19号(通巻第186号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

E4系廃止に伴う提案を受ける 新潟新幹線車両センターで標準数△12

中央本部は7月6日に団体交渉を行い、新幹線統括本部より「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」および「2021年10月運用改正について」の提案を受けました。
E4系新幹線電車の定期運用が10月1日で終了することにあわせて、車両検修体制と乗務員運用の見直しを行うとしたものです。

新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて

効率的な業務運営と社員のさらなる成長を目的として業務執行体制の見直しを行い、新潟新幹線車両センターにおける車両の標準数を10月2日以降△12名の58名とするとしました。

本部交渉団は今回の提案内容について、E4系が全廃されてE7系に置き換わることとの関連について質しました。
統括本部側は、10月1日にE4系の定期運行が終了するとの見込みで、E4系が全廃になればその分を行わなくて良くなるので、全ての車種を1日1編成でできるように1日1編成でできるように一部変更を行うとする提案を受けました。

今まで半日で人数をかけていたところを少ない人数でできる体制になることに加え、仕業検査が沢山あることから多めに配置していた検修当直もそこまで必要なくなるために、仕業検査の体制も減らすとしました。

執行体制の見直しとしては、「検修技術」「交換」「臨修」の各グループを「車両管理」に、「検修当直」「派出」のグループを「輸送管理」に統合するとともに、「交番担当」を「内勤」に変更(名称はいずれも仮称)するとしました。



も仮称)するとしました。このような体制とするのは新潟新幹線車両センターのみであるのかを質すと、他でも統合が進んでいる職場、進んでいない職場があるが、今回のタイミングとしては新潟新幹線車両センターだけであると回答しました。

老朽化取替に伴いE4系を全廃し、E7系の追加投入により上越新幹線の一部列車の編成変更を行い、あわせて乗務員行路の一部変更を行うとする提案を受けました。

2021年10月運用改正について

3名乗務しているものが1名乗務となることに加え、新幹線区所全体で担当列車の持ち替えを行うために発生しているとしてしま

担当列車の持ち替えについては、新幹線統括本部の管轄ではない長野総合運輸区や福島総合運輸区も含めた新幹線区所全体で検討していると明らかにしました。

乗務キロ数の減少が同程度の東京新幹線運輸区が行路数で△2、乗務枠で△4とされた一方で、新潟新幹線運輸区では変更な

字も提示されており、特に業務量に見合った要員が配置されているかを含めて持ち帰り検討すると述べて交渉を終えました。

■提案内容

新潟新幹線車両センター所属の車両置換えに伴い、業務執行体制の見直しを行う。

【実施内容】

効率的な業務運営と社員のさらなる成長を目的に、新潟新幹線車両センターの業務執行体制の見直しを行う。

【変更後の標準数】

新潟新幹線車両センター関係職・車両標準数58、増減△12

【実施時期】

2021年10月2日

しとされた根拠を質すと、上越新幹線は新潟新幹線運輸区が大部分を担当するということが基本的な考え方であり、それに基づいて行路を作成した結果、新潟新幹線運輸区については増減0となっていると回答しました。

編成置き換え後の輸送能力について問うと、併合した状態で比べれば定員は減るが、E4系単独で見ると時にはE7系の方が定員は増えるとなりました。

その上で、一番ご利用の多い朝通勤の時間帯を見ると輸送力は現行約11、500席であり、置換後は約11、000席と500

会社提案「現業機関における柔軟な働き方の実現」に関する取り組み

中央本部は5月26日の団体交渉において経営側より「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案を受けました。
JR東日本の将来を大きく左右する施策であることから、労働組合として提案に向き合い、組合員と共に検証・検討する取り組みを進めていきます。意見をお寄せください。

- (1)JR東日本が企業活動をする上で、会社の発展のために要員や運用、コストなど「効率性」や「生産性」に対する視点
 - (2)お客さま視点
 - (3)組合員・社員視点
- ★ 集約日:7月29日(木)
※地方本部での集約日です。

JR東日本労働組合第10回定期大会

安心を得る社会きずく！

JR東日本労働組合第10回定期大会

中央本部は7月5日に東京都の「北とびあ」において「第10回定期大会」を開催しました。

新潟地本からは4名の代表員が出席しました。
2021春闘や2021年度夏季手当の取り組みをはじめとして、第9回定期大会以降の運動の総括を行い、向こう1年間の方針を確認しました。

質疑では各地本選出の代表員から、この間の運動を通じて明確になった成果や課題などについて発言があり、すべての議案が満場一致で承認されるとともに新たな執行体制を確立しました。

このほか主な事項としては、在来線区間の乗務を秋田支社秋田運輸区に移管するとして盛岡新幹線運輸区の乗務区間一部見直しが提案されています。

団体交渉の日程決定!

2021年7月15日(木)
9時30分より
申11号・12号
新型コロナウイルス
感染防止に対する
職場の環境整備に関する
申し入れ
現情勢下における新潟支社
の企業活動に関する
緊急申し入れ

